

いえん

- ◆就任あいさつ…………… P2
- ◆各委員会の構成…………… P3
- ◆第19期議員の顔ぶれ…… P4~5
- ◆平成29年度 決算…………… P6~7
- ◆決算審査特別委員会質疑…… P8
- ◆決算審査意見書…………… P9
- ◆一般質問…………… P10~11
- ◆議決結果…………… P12
- ◆議会の活動…………… P13
- ◆視察・研修報告…………… P14~15
- ◆題字提供者紹介・編集後記… P16

▼第19期 伊江村議会議員



議会広報
いえん
第163号
平成30年12月1日

発行/伊江村議会
〒905-0592 兵庫県伊江村字東江町38
TEL: 0980-49-2924
編集/印刷/発行/IT7
TEL: 098-989-7421

題字提供はこの方



わーどろー
はちちゃんどー

▲題字を書いていた山城ジツさん
(東江前区(屋号:まやねーり))
(老人ホームいえしまにて)

今年満100歳を迎え、自分の事は自分で行う頑張り屋のジツ様です。題字もペンを渡すと、見本なしですらすら書かれ、100歳とは思えない、元気な方です。

題字執筆者紹介

山城 ジツさん
(大正7年8月30日生まれ100歳)

(方言:わーどろーはちちゃんどー。訳:私が書きました。)

傍聴席へどうぞ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0980-49-2924(直通)



12月定例会予定
12月19日(水)~
午前10時~

編集後記



(第19期議会広報調査特別委員会)

今号から、第19期村議会・広報委員会の活動が始まります。目標である「読者にわかりやすく、読みやすく、伝わる」紙面づくりを引き継いでいきたいと思います。

そして、議会活動にもっと興味を持っていただけるように、これまで同様に村民参加型の紙面と新たな企画も考えていきます。

村民の皆様がご愛読していただけるように議会広報委員・事務局職員一同頑張りますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

議会広報委員長 島袋 勉

※今回は「私たちの未来」「ワタウミ」はお休みしました。
※村民皆様のご意見・ご感想があれば気軽に議会事務局までご連絡下さい。

各委員会の構成

総務常任委員会 (4名)

委員長：内 間 広 樹 委員：名 嘉 實
副委員長：島 袋 義 範 委員：虻 江 修

【役 割】
次の各課等に関連した諸問題について、調査や審議を行います。総務課、住民課（出納室及び税務係含む）、政策調整室、医療保健課、教育委員会、監査委員会、選挙管理委員会、他の常任委員会に属さない事項

経済・公営企業常任委員会 (5名)

委員長：山 城 善 彦 委員：亀 里 敏 郎
副委員長：島 袋 勉 委員：内 田 竹 保
委員：並 里 晴 男

【役 割】
次の各課等に関連した諸問題について、調査や審議を行います。農林水産課、建設課、商工観光課、公営企業課、農業委員会

議会運営委員会 (5名)

委員長：内 間 広 樹 委員：亀 里 敏 郎
副委員長：山 城 善 彦 委員：島 袋 義 範
委員：島 袋 勉

【役 割】
議会運営全般、議会の会議規則や委員会に関する条例の改廃、議長の諮問に関すること等について、調査や審議を行います。

議会広報調査特別委員会 (4名)

委員長：島 袋 勉 委員：亀 里 敏 郎
副委員長：島 袋 義 範 委員：並 里 晴 男

【役 割】
議会広報誌“いえそん”の編集・発行及び議会広報全般について調査を行います。

議会選出監査委員

○監査委員：内 田 竹 保 議員

【役 割】
村の財務管理や事務事業が、法令等に従って公正で合理的かつ効果的に執行されているかチェックします。

一部事務組合議会議員

○沖縄県介護保険広域連合議会議員：
島 袋 義 範 議員

【役 割】
県介護保険広域連合の施策や運営に関する諸事項の審議を行います。

第19期初議会 (第9回臨時会)

新しい議会構成決まる

平成30年9月28日、第9回臨時議会を開きました。本臨時会は、9月9日に行われた村議会議員選挙で当選した議員による初の議会です。本会議では、議長及び副議長の選挙、各常任委員の選任などを行ないました。議員の任期は、平成34年9月27日までの4年間です。

第22代 議長に 渡久地 政雄 議員を選出 第24代 副議長に 亀里 敏郎 議員を選出

... 就任あいさつ ...



伊江村議会 議長
とくぐち まさお

渡久地 政雄

5期目の当選をさせて頂き村民の皆様方から感謝と御礼申し上げます。
更には第19期の初議会では伊江村議会第22代目の議長に任命され、職責の重大さを痛感しております。「議員」は住民の声に耳を傾け、その声を行政に届け、「議会」は行政の監視機能であり、意思決定の最高のものであります。

円滑な議会運営を図り、全議員とともに村政発展のために誠心誠意努力する所存であります。

私は1期目当初から取り組んでおります村の限らない発展へ向け人材育成、更なる福祉の向上、観光立村を目指します。また「子育て支援の島づくり」「若者が住み続けられる島づくり」「豊かで住みよい島づくり」に向け、一生懸命頑張ります。結びに村民皆様方のご健康、ご多幸を心から祈念申し上げます。議長就任のあいさつと致します。



伊江村議会 副議長
かめざと としろう

亀里 敏郎

村民皆様のご支援を賜り、六期目の当選を果たす事ができました。心より御礼を申し上げます。

議会人事では、議員各位のご理解を得まして、副議長に就任いたしました。向こう4年間、議長を補佐し円滑な議会運営に資するように鋭意努力いたします。また、私の議員としての信念は、村民の声を真摯に受け止め、村行政へ確実に届けその実現に向け、全身全霊をもって望むものであります。常に村民の立場にあたって、

是々々々々を貫き、村民福祉の更なる向上、村の活性化・離島苦の解消に微力を尽くしてまいります所存です。

直近の行政への提言
伊江港湾内の静穏度強化
フェリーの周年五航海
運航
未来への展望として
本部半島と伊江島を海底トンネルで繋ぐことへの基本的な住民意見
調査

前述の課題解決に向け、粘り強く全力で議会活動に専念します。申し遅れましたが、三期十二年村の監査委員を務めさせていただきました。この間、関係職員には誠心誠意をもって、対応していただき大過なく職責を終えることができたこと、感謝の念です。結びとしまして、伊江村民の健康長寿と村の更なる振興発展に向け村民一丸となって、邁進できることを切望して就任のあいさつと致します。

第19期議員の顔ぶれ

～今後の抱負や意気込み等を語っていただきました！～



並里 晴男 議員

多くの村民の支持をいただき議員に初当選させていただきました。改めて村民の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。私はこれまで村の職員として主に社会基盤施設を整備する仕事を37年間勤めてきましたが、これからは、伊江村議会議員として行政の政策を判断し決定する議会の立場で4年間頑張っていきたいと考えております。



並里 晴男 議員

2期目(第19期)の伊江村議会議員に当選させていただきました。衷心より感謝申し上げます。1期目の4年間は、議員としての職責を十分に果たすことができました。自問自答し叱咤する1期目でした。しかし、未熟な私に貴重なご意見や激励をいただいた村民の皆様の期待に応えるよう2期目は、より一層気を引き締め誠心誠意頑張ります。

今期も、次に掲げる活動目標を推進し提言してまいります。農漁業の基盤整備と所得の向上、新しい基幹産業の創造による雇用拡大、将来を担った港湾整備、継続的な観光産業の振興、子育て支援と高齢者医療等福祉の充実、長期では伊江島と本郡間の架橋等の建設推進、そして村民の声を行政に直接届けて参ります。初心を忘れず行政のチエック並びに最終決定の議決権を持つ議会の一員として、また村民目線で提案提言していきたいと思っております。結びに村民皆様のご指導、ご鞭撻をお願ひし、そして皆様のご健康とご多幸を祈願申し上げます。



あひ え おさむ 議員

第19期伊江村議会議員選挙において「有権者には選択が必要」との信念から立候補し、当選の栄誉をいただきました。これもひとえに村民皆様の応援の賜と感謝申し上げますと同時に改めてその重責に身の引き締まる思いです。伊江村に居住してから約2年半余り、その間、村議会を可能な限り傍聴し、伊江村がかかっている問題が様々あることも知ることが出



あひ え おさむ 議員

多くのご支持をいただき鬼門と言われる2期目を上位当選の栄に浴することができ、村民の皆様へ衷心より感謝申し上げます。これまで培った1期4年間の経験を生かし「語り合え島、夢の持てる島」を念頭に置き、更なる向上心を持ち、諸活動に取り

組んでまいりたいと強く決意をいたしております。本村は、離島が故に課題が山積みしていますが、その中で特に人口減少対策・農林水産業の安定強化・地域医療並びに福祉の充実・スポーツや文化活動、施設整備の推進などを提言し、村当局と共にその実現に努めます。その他、教育や商工観光等の振興発展にも鋭意努力してまいりますので、今後とも村民皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びに、伊江村の限らない発展を祈念申し上げます。



うちま ひろあき 議員

多くの村民皆様方のご支持を得て、3期目の当選を果たすことが出来たことに、衷心より感謝申し上げます。今後4年間の任期中、第5次沖縄振興特別措置法が2021年度に終了を迎えることとなり、議会としても次なる振興計



うちま ひろあき 議員

村民の絶大なご支持、ご支援をいただき5期目の当選を果たすことができ、心より感謝いたします。議会参画当初から地域活動を大切に、村民(地域)の声を村政へをモットーに取り組んでまいり、幾多のご意見、ご要望を村政に提案してまいりました。今後ともこの考えは堅持

し、議員活動に邁進してまいります。議会での役割は一度経験したいと考えておりました。議会の監査委員に選出されました。監査委員は地方公共団体の財務に関する事務の執行及び経営にかかわる事業の管理・事務・長執行機関の権限に属する事務の執行を監督する所務です。監査委員の職務を遵守し職を全うしたいと考えております。議会議員の活動・職務を最優先に全力で取り組んでまいります。今後ともご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。あいさついたします。



しまぶくろ よしのり 議員

村民皆様の温かいご支持ご支援をいただき4期目の当選を果たすことができ、衷心より感謝申し上げます。同時に身の引き締まる思いをいたしております。



しまぶくろ よしのり 議員

8期目の当選をさせていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。県内統一選挙後行われた県知事選挙、豊見城、那覇市長選挙では、建白書の実現を目指すオール沖縄勢力が推挙候補が3連勝しました。今、米軍の伊江島訓練場内では、F-35B垂直離着陸戦闘機や空軍のCV-22オスプレイの駐機場も備えた着艦訓練場の建設が進められ完成間

近です。今後、米軍のやりた放題の訓練をさせない取り組みが求められています。また、国保の県単一化に伴う国保税の負担軽減も大きな課題です。2年保育に伴う諸課題の解決、待機児童を出さない保育計画も大きな課題です。日米FTAから農畜産物を守る対策も必要です。国の悪政から平和に暮らすための課題は山積しています。今後とも村民の要求を実現するため全力を挙げる決意です。

前期4年間は村民並びに議員各位のご理解とご協力をいただき、無事議長職を遂行することができました。大変ありがとうございました。議会議員として私は「誠実」

村民の声に真剣に耳を傾ける。そして伺った村民の声を表現する為に「一生懸命」汗をかくことを信条としてこれまで活動して参りました。これからは村政に対しては、非々の立場で多くの汗をかき発言してまいります。村民の皆様様に議事を気軽に傍聴してもらえ、村民にとって身近な議会であるよう努めてまいります。初心に返って頑張ります。今期は、介護保険広域連合議会議員に推挙いただきましたので、その面でもがんばりたいと考えております。村民皆様の更なるご指導、ご助言をいただきますようお願いいたします。

村民の声に真剣に耳を傾ける。そして伺った村民の声を表現する為に「一生懸命」汗をかくことを信条としてこれまで活動して参りました。これからは村政に対しては、非々の立場で多くの汗をかき発言してまいります。村民の皆様様に議事を気軽に傍聴してもらえ、村民にとって身近な議会であるよう努めてまいります。初心に返って頑張ります。今期は、介護保険広域連合議会議員に推挙いただきましたので、その面でもがんばりたいと考えております。村民皆様の更なるご指導、ご助言をいただきますようお願いいたします。

平成30年第8回(9月)定例会を3日間の会期で開会しました。
 本定例会では、平成29年度各会計の決算認定や平成30年度一般会計及び特別会計補正予算等19議案を審議しました。(審議結果は12ページをご覧ください)
 また、開会初日には一般質問が行なわれ、2名の議員が村の考えや対応を問いました。

一般会計 1億1,518万円の 平成29年度決算(6会計)を認定 歳出82億6,151万円



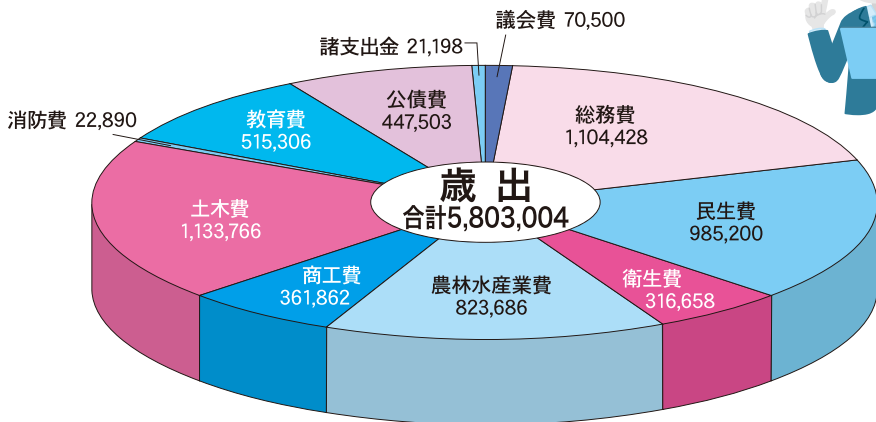
平成29年度決算の認定にあたっては、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行なった。
 その結果、付託された6会計決算すべて認定と決定した。

平成29年度 会計別決算状況 (単位/千円)

会計名	決算額	
	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	5,918,185	5,803,004
特別会計	診療所	325,492
	国民健康保険	1,137,996
	後期高齢者医療	63,863
	水道事業	201,442
	船舶事業	729,717
	総合計	8,261,514

一般会計 歳出決算額の状況

(単位/千円)



平成30年 第8回 9月定例会

黒字決算

総額

歳入87億7,712万円



村民1人당りに使われたお金はいくら?

1人当たり **1,267,030円**

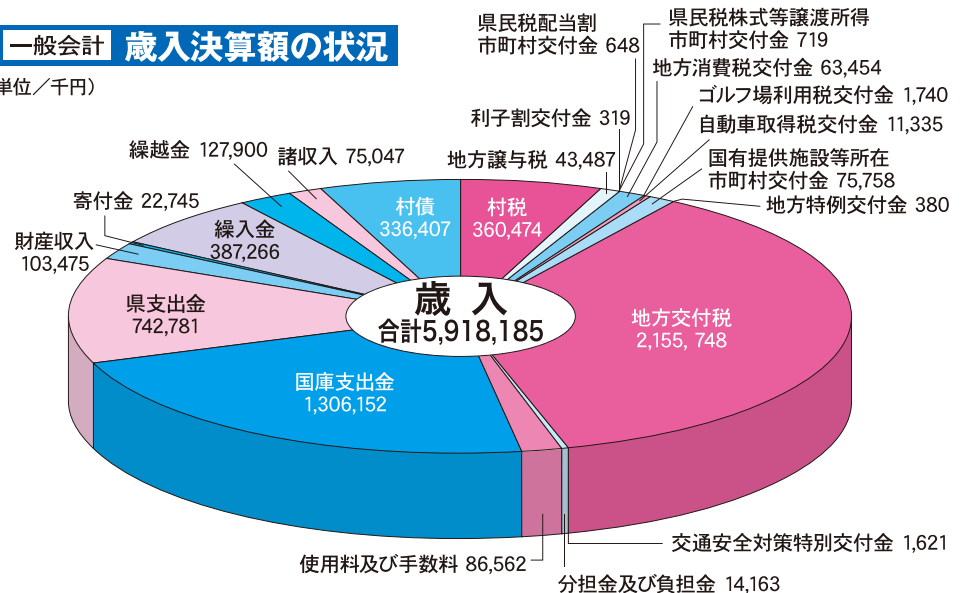
1世帯当たり **2,549,111円**

※一般会計歳出予算額を平成30年9月末の人口(4,580人)、世帯(2,250世帯)で割り、算出しました。



一般会計 歳入決算額の状況

(単位/千円)



平成29年度

決算審査意見書

伊江村代表監査委員 具志川 豊秀 伊江村議選監査委員 亀里 敏郎

一般会計

財政運営は、所期の事業が計画どおり執行され黒字決算で翌年度へ引き継ぐことができたことは高く評価するものである。引き続き、収支均衡に留意されつつ、現下の経済の閉塞感を打破すべく積極的な投資的経費に重点をおいた財源配分と消費的経費の節減・合理化を図り、地方自治の本旨である「最小の経費で最大の効果を上げる」ことが行政の使命であり、村の発展と住民福祉の増進に尚一層の努力を望む。

国民健康保険特別会計

疾病の多様化や重症化後の受診などで医療費は増加している。特定健康診査の受診率向上と特定保健指導を積極的に展開し、医療費の抑制を図ることが肝要だと思料する。

総体的に見て財源の厳しい中ではあるが健全な財政運営を目指し、国保対象者2,074人の健康維持・増進に繋がる努力を望む。また、国民健康保険税で1,554万871円(137件)の滞納額があり、今後とも徴収業務に尚一層、取り組んでほしい。



水道事業会計

本村の水道事業会計は自己水源の確保が経営に大きく左右される。取水量は急激に減少傾向にあり、近年は著しく低い取水量となっている。特に、自己水源の多くを占める湧出水源は、極めて厳しい現状にある。また、無効水量(漏水、その他損失とみられる水量)は依然として高い数値で推移しているが、当年度も村全体で使用水量の約48日分相当(前年度より3日増)が失われたことになる。漏水対策は今後の大きな政策課題であり、老朽管の早急な改修対策を講じるとともに、その他の原因についても究明する必要がある。早急な人材の確保と技術者の育成を強化し、安全で良質な水を安定供給できるように施設の維持管理に万全を期し、漏水防止対策の強化及び前述のとおり、無効水の改善に尚一層努力してほしい。

診療所特別会計

今後とも医療サービスの向上のために医師及び医療スタッフの継続的な確保に万全を期し、地域に密着した安定的な医療の提供に努めていただきたい。近年は、村民の診療所への信頼が高まり専門科以外の受診者は益々増えるものと思われる。村民の健康寿命の延伸に、診療所と人工透析センター及び保健業務との連携強化により、施設や医療機器を最大限に活かし村民の疾病予防の強化を図り、村民の健康管理に尚一層の取組を望む。

後期高齢者医療特別会計

「高齢者の医療の確保に関する法律」による医療制度で75歳以上と一定の障害のある65歳以上の819人が対象の医療制度となっている。歳入については、後期高齢者医療保険料(70.2%)一般会計繰入金(27.6%)等で、歳出は総務費(1.8%)と後期高齢者医療広域連合納付金(98.1%)となっている。

船舶運航事業会計

黒字決算を維持。要因には安定した旅客と車両航送に加え、当年度はフェリー「くすく」の売却益が大きい。

旅客輸送については、平成28年度以降は減少傾向にあり、当年度は48万6,513人で対前年度9,841人(△1.9%)の減となった。車輛航送は車両、7万9,746台で前年度比815台(1.0%)の増で、旅客輸送、車両航送とも減となった。当年度の欠航日数は16日で台風の影響による欠航が14日、海上時化による欠航は2日であった。旅客減は、民家体験泊事業の受入減や天候不良による欠航が大きな要因であり、民家体験泊事業は今後も減少が予想される。

現下の厳しい経済状況のもと、沖縄県離島住民運賃割引事業や伊江村自動車航送コスト軽減事業が継続され、村民の利便性に大きく寄与している。また、村HPサービス拡充強化業務による車両予約や券売機設置なども利用者のニーズに適応したものであり、将来のコスト軽減や業務の効率化が望め一定の評価ができる。これからも適正な運営計画のもと、旅客および車両航送の利用状況を的確に判断し、船舶運航事業の健全運営と村民、観光客等の海上交通サービスと安全運航に取組み、一層の研鑽を要望する。

決算審査特別委員会質疑

一部抜粋

問 待機児童は、今後解消できるのか。

答 子育てしやすい環境をつくるためにも、保育士の確保や施設の整備を検討し、待機児童の解消に努めた。

問 ハブ対策事業での捕獲実績は

答 平成29年度15箇所に捕獲器を設置したが、残念ながら捕獲はゼロであった。これからも、ハブが出没しそうな場所を村民や区長などから情報収集につとめ、一匹でも多くのハブが捕獲できるようにしたい。

問 農家(花卉・たばこ等)の労働力確保のために村外労働者における寄宿舎の確保はできないか

答 村内で活用できそうな既存の施設も視野に入れ、新たな宿泊施設の整備も検討し、環境整備に取組みたい。

問 特産品島らつきようを大手市場等へ売り込みをかけるみては

答 生産団体・JAとも連携しながら、大手の市場への売り込みも検討し販売促進に取り組みたい。

問 葉タバコ共同乾燥施設の老朽化による補修・建替え整備をする考えは

答 村の葉たばこ振興会・JTC沖縄原料本部とも協議を行ないながら、補修・建替えに向けての助成制度や補助規定の整備に取組む。



▲アジアン野菜試験ハウス

問 アジアン野菜の栽培指導体制は

答 専門会社から指導員と駐在している県の普及員が指導しているが、栽培農家が将来的に生産意欲が得るように、県農業改良普及所の指導も受けながら栽培技術指導ができる人材育成の確立を専門会社へ申し入れていきたい。

問 F Mゆがふ伊江島を活用した伊江島の宣伝をもつとやるべきでは

答 島の行事等の宣伝ができる体制を今一度整えて活用していきたい。

問 本部港の立体駐車場工事の完成予定は

答 県に確認したところ、来年の6月には完成予定である。

問 伊江村平和学習ビデオの活用について

答 民泊の修学旅行生や村内の学校での平和学習で活用しているが、さらに広く活用できるような方法がないか検討したい。

※詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

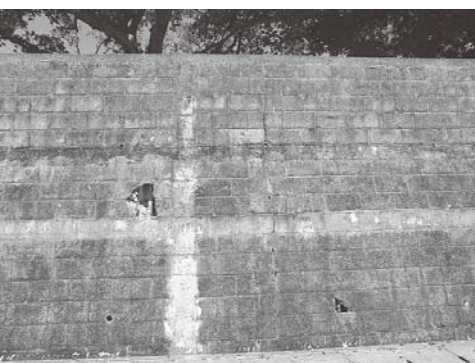
問 平成30年6月18日に大阪府北部で発生した震度6弱の地震により、学校敷地内ブロック塀が倒壊し、下敷きになった小学生が死亡する事故が発生。伊江村においても保護者から心配の声がある。文部科学省では、事故を未然に防止するため、緊急点検を実施し全国1万2千校で安全性に問題がある塀を確認し、この

問 内公立小中学校は約7千700校に安全対策を急ぐ必要があると指摘されています。そこで沖縄県市町村別の公表はされていないが、伊江村における学校敷地のブロック塀の現状と対策は。

答 国から「学校施設におけるブロック塀等の

問 ブロック塀の安全基準(建設基準)はどのようなものか。

答 国からブロック塀の安全基準(建設基準)はどのようなものか。



▲老朽化した西小のブロック塀

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

学校敷地のブロック塀の安全対策は

教育長／3学校に老朽化等によるひび割れを確認。更なる専門業者への調査を依頼

渡久地 政雄 議員

問 安全点検調査の通達があり、その調査対象は、学校敷地内のブロック塀すべてが対象範囲である。

答 県からブロック塀点検調査依頼により、国の調査基準に基づき、教育委員会職員による目視での調査を実施した。その結果、3学校それぞれ老朽化によるひび割れ等、安全対策が必要であることが判明している。現段階で緊急に修繕すべきかどうか判断ができないことから、専門業者に調査を委託し、現状把握に努めたい。

問 建築基準法で定められているブロック塀の基準として、次の6点がある。

①高さは2.2メートル以下であるか ②厚さは十分か ③控え壁があるか ④基礎があるか ⑤老朽化し亀裂・傾き・くさつきがないか ⑥塀に鉄筋が入っているか

問 安全基準に適合していない場合の対策についてはどうのように考えているか。

答 国の補助金制度があれば活用して整備を図っていきたいが、基準に適合していない場合、危険性が高く緊急に修繕すべき箇所は、今後村独自で修繕していくことも考えている。

村政のここを問う!

フェリーの周年5航海運航が可能か、村の決断は

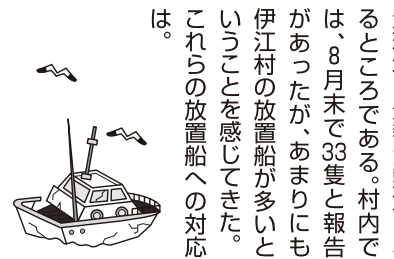
村長／現在は、周年5航海運航には踏み切れないが、将来を見据えて検討する

亀里 敏郎 議員

問 周年5航海運航への一般質問が、過去に4回質問されている。このことは、村民の周年5航海への強い要望を代弁したものである。平成30年3月に周年5航海可能性調査委託業務報告書が村当局に提出されているが、その報告書も勘案して周年5航海運航の可否は。

答 今回の報告書では周年5航海を行う場合のシミュレーションとして、次の検証を行っている。①1日5航海の運航想定、②運航ダイヤ想定、③超過勤務時間の算定、④必要人員の算定、⑤必要人件費の算定、⑥収支の計算、⑦周

問 漁港区域内の陸域や公共の空地に長期間放置された船(FRP)処理については、沖縄だけではなく、全国的にもその対応に苦労しているところと聞く。船をそのまま放置していくというところは、将来の漁港環境に影響が懸念されるところである。村内では、8月末で33隻と報告があったが、あまりにも伊江村の放置船が多いということを感じてきた。これらの放置船への対応は。



問 実際の漁港管理につきましては、伊江漁協と連携しながら、漁港を利用する漁業者の皆様も放置艇については、頭を悩ませていて、速やかなる解決を望んでいると思うので、今後、県の指導も受けながら、放置禁止区域の設置について、しっかりと勉強していきたい。港湾については、北部土木事務所との管理なので、伊江港については、公営企業課と県の北部土木と協議もしながら、大きな問題となっている漁港、港湾における放置艇の処理に向けて、全庁態勢で全力で取り組んでいく。

年5航海可能性をまとめている。周年5航海可能性調査では、これまでの船舶運航事業の実績に基づいて検証した結果、4月から10月までの夏季運航であれば、船舶運航事業は可能であるとの報告を受けている。伊江村を取り巻く離島航路の実情、村民の5航海に対する考え方、赤字になっても5航海は必要だということ。そういった条件もしっかりとコンセンサスを見極めながら、国、県と調整しながら、将来におけるそういう多くの要望があるというのを念頭に今後引き続き、慎重に誠実に検討をしていく。

問 村内の漁港区域に長期間放置された船への対応は

村長／早急な放置艇の処理に向けて、全庁態勢で全力で取り組む

答 実際の漁港管理につきましては、伊江漁協と連携しながら、漁港を利用する漁業者の皆様も放置艇については、頭を悩ませていて、速やかなる解決を望んでいると思うので、今後、県の指導も受けながら、放置禁止区域の設置について、しっかりと勉強していきたい。港湾については、北部土木事務所との管理なので、伊江港については、公営企業課と県の北部土木と協議もしながら、大きな問題となっている漁港、港湾における放置艇の処理に向けて、全庁態勢で全力で取り組んでいく。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

議会の活動

9月

- 7日:JA園芸生産組合総会(議長)
- 9日:伊江村議会議員選挙
- 11日:村議当選証書付与式(全議)
議会運営委員会(議長、議運)
- 12日:伊江村農業青年交流会(議長)
- 14~20日:第8回伊江村議会定例会(全議)
- 18日:県町村議会議長会 定例役員会(議長)
- 20日:村政功労被表彰者選考審査会(全議)
- 24日:老人ホームいえしま「敬老会」(議長)
- 28日:第9回伊江村議会臨時会(全議)
(第19期議員スタート)



▲伊江村農業青年交流会の様子

10月

- 2日:北部地区畜産共進会(議長、経済・公営企業委員/今帰仁)
- 3日:北部議長会臨時総会(議長/名護)
- 7日:西小学校運動会(西小学校議員)
- 8日:伊江小学校運動会(伊江小学校議員)
- 8~11日:町村議会広報研修
(議会広報調査特別委員/東京)
- 9日:故翁長県知事県民葬(議長)
- 10日:町村議会議長会 定例総会(議長/那覇)
- 11日:沖縄県離島振興市町村議会議長会 臨時総会
(議長/那覇)
- 12日:町村議会議員・事務局職員研修会並びに
交流会(全議/糸満)
- 21日:第55回国頭郡陸上大会(議員)
- 24日:議会運営委員会(議会運営委員)
- 27日:公立保育所合同運動会(議長)
- 28日:第45回老人・婦人スポーツ大会(全議)



▲老人・婦人スポーツ大会

11月

- 10月31日~2日:町村監査委員全国研修会(議選監査委員/東京)
- 2日:沖縄県畜産共進会(議長、経済・公営企業委員/糸満)
- 5日:全国火災予防運動・伊江村防火デー(全議)
- 6日:町村議会常任委員長・副委員長実務研修会
(総務正副委員長、経・公正副委員長/那覇)
:パラシュート落下事故等に伴う沖縄防衛局要請行動(議長/嘉手納)
- 7日:町村議会広報研修会(議会広報調査特別委員/那覇)
- 8日:北部広域市町村圏事務組合定例会(議長/名護)
- 10日:伊江村民俗芸能発表会(全議)
- 13日:伊江島マラソン実行委員会・ゆり祭り実行委員会(議長)
- 20日:離島振興市町村議会議長会全国大会(議長/東京)
- 21日:町村議会議長会全国大会(議長/東京)
- 25日:伊江村郷友会運動会(議員/南風原町)
:2018離島フェア視察(議長、総務常任委員/那覇)



▲伊江村防火デー(全議)

平成30年 第7回 伊江村議会臨時会 (開会日:7月20日)

議案	件名	議決	結果
議案	肉用牛優良繁殖雌牛増頭改良推進事業分担金徴収条例の制定		可決
議案	平成30年度伊江村一般会計補正予算(第2号)		//
議案	平成30年度伊江村水道事業会計補正予算(第1号)		//
議案	特定地域経営支援対策事業(精脱葉施設処理装置)の購入契約		//
議案	特定地域経営支援対策事業(ハーベスター)の購入契約		//
議案	伊江島ハイビスカス園等整備工事(建築)の請負契約		//
議案	伊江島ハイビスカス園等整備工事(土木)の請負契約		//
議案	伊江島ハイビスカス園等整備工事(電気)の請負契約		//
議案	伊江島ハイビスカス園等整備工事(機械)の請負契約		//
議案	村営第2城山団地建設工事(建築)請負契約		//
議案	西小第一教員宿舍整備工事(建築・土木)の請負契約		//
議案	村立幼稚園増改築整備工事(建築)の請負契約		//
議案	リリーフィールド公園施設整備工事(土木)の請負契約		//
議案	団体営農地保全整備事業(東江上第1地区)整備工事の請負契約		//
意見書案	米軍F15戦闘機墜落事故に関する意見書(案)(議員提案)		//
決議案	米軍F15戦闘機墜落事故に関する抗議決議(案)(議員提案)		//

平成30年 第8回 伊江村議会定例会 (開会日:9月14日~9月20日)

議案	件名	議決	結果
報告	平成29年度沖繩県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出		報告
報告	健全化判断比率及び資金不足比率の報告		報告
同意	教育委員の任命		同意
諮問	人権擁護委員候補者の推薦		適任
諮問	人権擁護委員候補者の推薦		//
議案	平成30年度伊江村一般会計補正予算(第3号)		可決
議案	平成30年度伊江村診療所特別会計補正予算(第2号)		//
議案	平成30年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		//
議案	平成30年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		//
議案	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定		//
議案	伊江村税条例等の一部を改正する条例の制定		//
議案	伊江村過疎地域自立促進計画の変更		//
認定	平成29年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定		認定
認定	平成29年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定		//
認定	平成29年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定		//
認定	平成29年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		//
認定	平成29年度伊江村水道事業会計利益の処分及び決算の認定		//
認定	平成29年度伊江村船舶運航事業会計利益の処分及び決算の認定		//
発議	専決処分事項の指定(議員提案)		可決



視察

研修報告



沖縄県畜産共進会へ6頭が北部代表に

10/2 第42回北部地区畜産共進会
(経済・公営企業常任委員会／議長)

伊江村から4部門に8頭が出品された。各部門とも厳正なる審査が行われ、全4部門で最優秀賞に輝きました。後に行なわれる沖縄県畜産共進会へ北部地区代表として出品することになり島の畜産技術の高さを実感する共進会であった。



▶優秀な成績を収めた伊江村の出品牛



▲畜主を激励する経済・公営企業常任委員

「読みやすく伝わる」紙面づくりを

10/8~10 平成30年度町村議会広報研修会(全国)
議会広報調査特別委員会
東京都

東京都の砂防会館にて、3名の講師を招き開催された。各講師が共通して述べていたことは、「伝える広報」から「伝わる広報」を編集すること。また、全国の優秀事例が紹介され、記事の内容や写真・イラストの使い方、配色等のバランスなど今後の広報誌作りに生かしていきたい。



▲全国研修会へ出席(広報委員)

今回の研修を議会活動にいかす

10/12 町村議会議員・事務局職員研修会
(全議員)

今回、第19期議会として初めての研修に全議員が出席した。「住民自治を進める議会の条件整備 議員報酬・定数」と題し、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏を講師による「住民自治の根幹」としての議会の活性化させる条件とは何かという内容で講話が行われた。全議員熱心に聞きいった様子で、この研修で得た知識を今後の議会活動にいかしたいと意気込んだ。研修会終了後は、県内の町村議会議員全員により懇親会が開催され、意見交換をし有意義な時間をすごした。



▲講話する江藤氏



▲講話を熱心に聞き入る(前列・2列目)

「りいな号」(畜主内田徹) 農林水産大臣賞を受賞

11/3 第44回沖縄県畜産共進会
(経済・公営企業常任委員会)

糸満市の南部家畜市場で開催された沖縄県畜産共進会へ、伊江村から4部門に6頭を出品した。1部門で優秀1席、2部門で優秀2席の合計3頭が優秀な成績を収めた。その中で、成雌2頭で優秀1席の「りいな号」(畜主内田徹)が見事に農林水産大臣賞を受賞した。日頃からのご尽力に敬意を表し、これからの活躍を祈念したい。



▲農林水産大臣賞の「りいな号」



▲審査の様子

議会活性化には、常任委員会の果たすべき役割は大きい

11/6 町村議会常任委員長・副委員長実務研修会

県町村議会議長会事務局長の石垣安秀氏による「常任委員会の役割と運営について」と題し、委員会制度や権限・運営について講話いただいた。議会が活性化するためには、常任委員会が果たすべき役割は大きい。この研修から得た知識をもとに、所管事務調査や審査活動を積極的にを行い、政策提言・チェック義務を果たしていきたい。

沖縄防衛局へ再発防止を要請

11/6 要請行動(議長・村長)

平成30年10月18日にオスプレイからパラシュート降下訓練中の米兵2名が強風にあおられ、演習場フェンス外200m離れた畑提提施設内へ落下した事故が発生。人的にも作物等にも被害はなかったが、一歩間違えれば重大な事故が及ぼす危険があることから、沖縄防衛局へ再発防止の要請行動を行なった。



▲沖縄防衛局へ要請する村長と議長

広報クリニックで紙面づくりを学ぶ

11/7 町村議会広報委員会研修会
(議会広報調査特別委員会)

「誰のため、何のための議会広報誌か」と題し、越地眞一郎氏による研修会が開催された。議員個々が伝えたい思いではなく、読み手側の立場で編集することが大切だと改めて実感する研修であった。引き続き広報誌クリニックが行なわれ、3町村(伊江・与那原・北中城)のそれぞれ広報誌を越地氏が診断し、良い部分や改善箇所など指導・助言をいただいた。今後の広報誌作りに役立てていきたい。

伊江島を存分にPR

11/25 離島フェア2018視察
(総務常任委員会)

「まだ見ぬ島の魅力!島の時感!再発見」をキャッチフレーズに沖縄セルラーパーク那覇で開催された離島フェアを視察。真謝区による村踊りははじめ、島からの出展業者の飲食ブースや特産品ブースでは多くの来場者で賑わいをみせ、伊江島を存分にPRしていた。



▲真謝区が村踊りを披露